2026年7月27日 Ver.2.0

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	保存検体を用いた肝細胞癌のプロテオーム解析とトランスクリプトーム解析による癌被膜関連分子の同定
② 実施予定期間	2023年1月5日 から 2027年3月31日
③ 対象患者	対象期間中に、山口大学医学部附属病院第二外科（大学院消化器・腫瘍外科学）を受診され、来院時に包括的遺伝子解析研究（H17-083「消化器がんおよび内分泌がん患者における遺伝子および遺伝子産物の解析」またはH2022-084「消化器がんおよび内分泌がん患者における診断・予測マーカーおよび治療標的の探索研究」）への同意をされた患者さん
④ 対象期間	2000年3月8日 から 2023年1月5日まで
⑤ 研究機関の名称	別添参照
⑥ 対象診療科	第二外科（消化器・腫瘍外科）
⑦ 研究責任者	氏名　髙橋　秀典　／　所属　消化器・腫瘍外科
⑧ 使用する試料・情報等	以前、倫理審査委員会で承認された研究（H17-083「消化器がんおよび内分泌がん患者における遺伝子および遺伝子産物の解析」またはH2022-084「消化器がんおよび内分泌がん患者における診断・予測マーカーおよび治療標的の探索研究」）で収集した以下の検体と診療情報を二次利用します。 残余検体：手術で摘出した切除標本、 被験者背景：識別コード、性別、年齢、入院・外来の別、身長、体重、合併症、既往歴、原病歴、前治療、当該診療科での治療歴、治療成績（毒性、効果、予後） 本研究で新たに取得する情報：切除標本におけるタンパク及び遺伝子発現情報ならびにそれらと被験者背景との相関
⑨ 研究の概要	現在医学では、ゲノムやタンパクなどの解析が進みつつあります。色々な疾患の原因としてゲノム上の遺伝子やその産物であるタンパクなどが関わっています。すなわち、病気の解明に、これらの解析は極めて重要と言えます。これまでに、癌被膜の破綻が浸潤・転移に影響し予後と関連することが知られています。我々は少数例の臨床検体での解析から、被膜の維持・破綻に関わる分子の同定に成功し、今回、より多数例の臨床検体を用いることで、さらなる被膜維持・破綻に重

	要な分子を同定します。得られた結果は、直ぐには患者さん自身に役立つとは言えませんが、医療の進歩をもたらすことで将来は多くの患者さんに役立つことが期待されます。 この研究では、肝細胞癌患者さんの切除標本を使用して、探索的なタンパクとRNAに関する発現解析を実施し、被膜の維持と破綻に関連する分子を明らかとすることを目的としています。また、別添に記載されている研究参加施設にて、解析・分析を行う可能性があります。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026 年 9 月 30 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	研究の結果は学会発表ならびに投稿論文として公表する予定です。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学大学院消化器・腫瘍外科学講座および北海道医療大学先端研究推進センターの奨学寄付金、学用患者費用（校費）や文部科学省科学研究費補助金の研究費を用いて実施します。			
⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部　消化器・腫瘍外科学講座（第二外科）　徳光 幸生			
	電話	0836-22-2264	FAX	0836-22-2263

2026年7月27日 Ver.2.0

別添

研究組織

研究代表者：

髙橋秀典　山口大学大学院医学系研究科　消化器・腫瘍外科学講座　准教授

研究参加施設と研究責任者

山口大学大学院医学系研究科　消化器・腫瘍外科学講座	髙橋秀典
北海道医療大学先端研究推進センター	藏満保宏